



# ピラミードたより

テーマ「大きさ」  
発達領域：考えることの発達

## ①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

絵本「ピヨピヨスーパーマーケット」に出てくるものを見ながら、大きさを比べました。「ひよこのこどもはみんなせがおなじやで」「くまがいちばんおおきいなぁ」と登場人物を比べていました。絵本の中で、一番小さいものと大きいものを探してみると「もっとちいさいものがあるで」と言いながら、友だち同士で真剣に探していました。



## ③視野を広める(どうしてそうなるの)

お茶の量を比べたり、同じ量に分けてみました。「〇〇ちゃんのほうがすくないなぁ」と友だちとお茶の量を比べていました。自分のお茶の量は友だちの量のどこに入るのかを考えて、並べてみました。同じような量の友だちのコップを見つけて一つずつ比べていました。同じコップで同じ量のお茶を、自分のコップに移してみると「あっ。コップのおおきさがちがうからや」と同じ量でもコップの大きさを多く見えたり、少なく見えたりすることに気付いていました。



## ②具体的に体験させる(見てみよう!)

スーパーの袋に入ったものの重さを比べてみました。比べる前に見た目どちらが重いかを尋ねると、「おおきいからこっちがおもい」と話していました。重さを比べてみると、両方の袋を持って真剣に比べていました。「ちいさいほうがおもたいやん」と見た目と想像していた重さとは違うことを実感していました。



ちいさいほうが  
いっぱいはいってる  
からおもたいよ

## ④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

お店屋さんとお客さんに分かれて、買い物ごっこをしました。お店さんは、長さや大きさの違うものをお店に並べました。お客さんは買いたいものをお店さんに伝えて購入できる事をルールにしました。「おみせでいちばんおおきいものをください」と言われると、お店さんが比べながら渡して買った物の大きさに合う袋に入れていました。

